

1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	岡山瀬戸高等支援学校	指導者名	宮田 竜哉
実践場面 (教科名)	専門コース (ものづくり)	単元・題材名	自主製作
学習目標・ ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した技術を生かして、材料を加工して製作することができる。(知識及び技能) ・製作の記録を残し、振り返りを行ったり、製品の開発に生かしたりすることができる。(主体的に学習に取り組む態度) 		
対象児童生徒の 実態	<p style="text-align: center;">知的部門 高等部 3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示を聞いて丁寧に作業することができるが、加工の仕方などを覚えるのに時間がかかる。 ・覚えたことが定着しにくく、視覚的な例示や振り返りが効果的である。 		
活用の概要			
<p>○ロイロノートを用いて、自主製作の過程を写真と文章で記録を残す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力用のシートの作成と配布 ・シートの入力の仕方の説明 ・提出箱、提出期限の設定 ・写真撮影、シートへの入力時間の確保 ・記録された文書の確認 			
<p>○生徒の活動</p> <p>生徒一人一台端末でロイロノートを使用し、教師から送られてきたシートに、本日の活動終了時の製品の様子を撮影して、シートに貼り付ける。また、メモ書き程度に、その日行った作業やかかった時間などを入力する。できたシートをロイロノート上の「提出箱」に提出する。</p> 			
<p>○振り返り</p> <p>当日どのような作業をして、写真の状態まで作業を進めることができたかを確認する。</p> <p>一日の作業の感想や反省を教師と一緒に行う。</p> <p>次時のコースでの作業で、どのような作業を行うか、何が必要かを教師と一緒に確認を行う。</p>  			
成果や活用のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が日頃から使い慣れているアプリを活用することで、記録の作成が負担にならないようにした。 ・記録や記入の仕方が分かれば、一人で記録に残すことは容易である。 ・写真で記録を残すことによって、視覚的に作業の進捗を確認できたり、現物を販売して手元になくなってもしっかり振り返りができたりした。 ・写真を撮影しておくことで、担当教師と次回の作業についての打ち合わせを行うこともできた。 		
課題、改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から紙媒体の授業日誌で目標と振り返りを行っているので、ロイロノートで作業記録を残すと時間や手間が増えることになる。 ・授業日誌と作業の記録用紙を一体化して報告できるように、シートを工夫する。 		